

設計B1第2課題 古新田の森

○設計データ

敷地面積:約23200m² | 建築面積:4229m² | 延床面積:4493m² 1階 4229m² / 2階 264m² | 階数:校舎 地上1階 / 体育館 地上2階 | 構造:S造

袋井市立浅羽東小学校は、広々とした自然豊かな土地から地域を見守る。この土地の発掘調査では、“古新田遺跡”と呼ばれる、まだ豪族が存在した弥生時代の遺跡が出土した。遺跡からは、その時代に使われていたとされる土器や石製模造品、色鮮やかな壁画が見つかり、豊かな土地であったことがわかる。

今回設計した新校舎は、広々とした敷地にのびのびと校舎が広がり、校舎の周りや隙間には豊かな自然を織り交ぜた。また、教室間に開かれたアトリウムでは、クラスの枠、学年の枠を超えたコミュニティが築かれる。教室の小規模コミュニティからアトリウムの中規模コミュニティ、屋外の大規模コミュニティでの出会いや体験が、子どもたちの豊かな感性を育ててほしい。

○機能

①みんなの学び舎

子どもたち一勉強や遊びを通して、
コミュニケーションを学ぶ
地域住民→教室を開放し、趣味のお教室や
ワークショップなどに利用

②地域交流

同じ地区・学区の人々が活動を通し、
交流する。

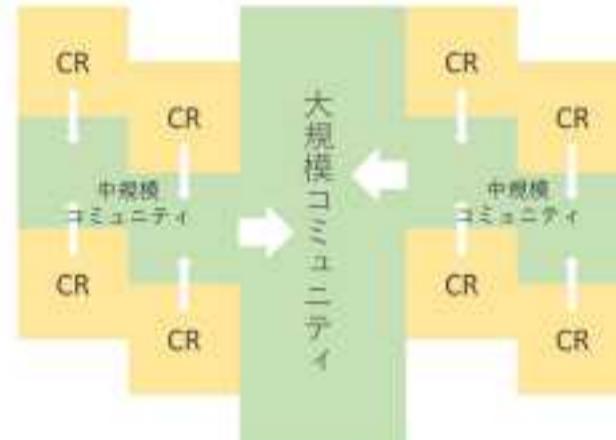
③防災拠点

小学校区の中心かつ最大の避難場所として、
災害時の安全を確保する。

○ダイアグラム

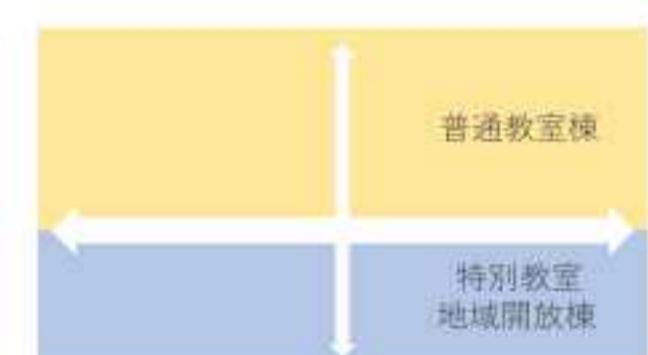
①コミュニティ空間の創設

クラス間、学年間に、
コミュニティ空間をひらく。



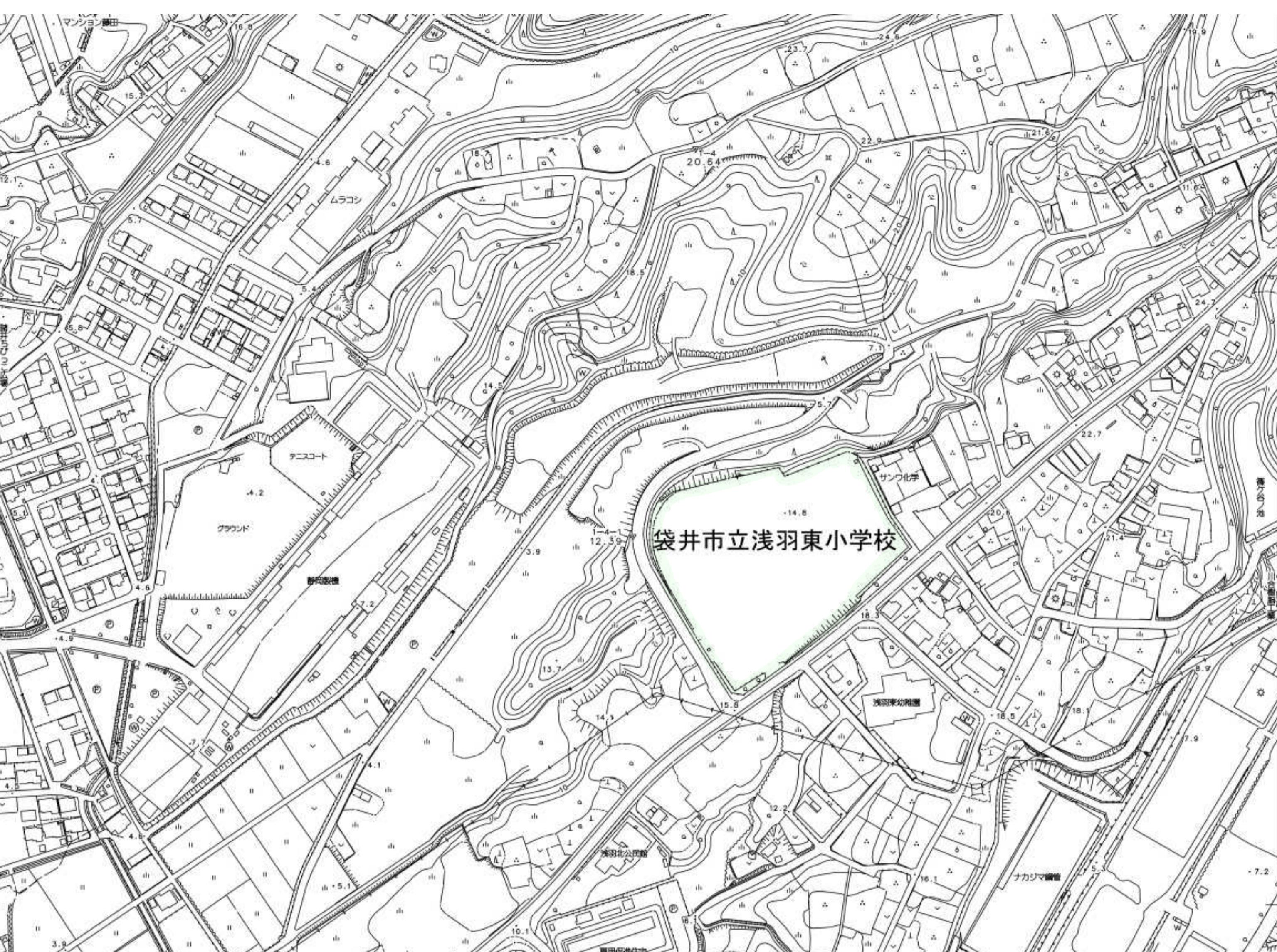
②地域と児童

昇降口から普通教室棟へは、
特別教室・地域開放棟を介することで
地域の活動に関心を持つ。



③多方向に流れる屋根

- I. 自然の自由さを表現
- II. 個性豊かな児童を表現



A-A' 断面図 S:1/200

B-B' 断面図 S:1/200

東側立面図 S:1/200

南側立面図 S:1/200

